



## 岩瀬コスファ サプライヤー倫理要綱

2019年12月制定

### 1. CSRの推進・社会貢献・組織統治

- ・自らの企業活動が社会に与える影響と社会的責任を的確に認識しCSR活動を推進すること
- ・ステークホルダーを尊重し、そのCSRにも配慮すること、以って社会全体の健全で持続可能な繁栄に貢献すること
- ・経営の意思決定にCSRの視点を反映する仕組み作り、組織統治に積極的に取り組むこと

### 2. 法令順守・公正取引・企業倫理

- ・企業活動において国際規範・社会規範に反することなく、公正・公平に業務遂行すること
- ・それぞれの国の法令などを順守すること（商法、独禁法、下請法、労働関係法、個人情報保護法、外為法など）
- ・物品の輸出入に関して法令等を遵守し、明確な管理体制を整備して適切な輸出入手続きを行うこと
- ・あらゆる利害関係者への贈収賄を禁止すること（違法な贈与、支払、対価、金銭的または金銭以外の利益供与など）
- ・反社会的な個人、団体とは関係を遮断し、不当な要求を拒絶し、資金提供を行わないこと

### 3. 人権尊重・労働・安全衛生

- ・国籍、人種、信条、社会的身分、性別、年齢、宗教、門地、障がい、婚姻、妊娠、育児・介護、LGBT、などを理由としたあらゆる差別やハラスメント等非人道的な扱いを防止すること、またその為に研修などの対策を実施すること
- ・児童労働、奴隷労働、強制労働、虐待、人身取引など、あらゆる差別や人権侵害を禁止すること
- ・紛争鉱物規制に対し、責任ある調達を推進し原則として使用しないこと
- ・労働安全衛生について、法令を順守すると共に、全ての従業員に対し適切な健康管理を行い安全で働きやすい職場の実現に努めること

- ・長時間労働を防止する為、労働時間を管理し且つ適切な賃金を支払うこと
- ・労働者の団結権と団体交渉権を認め、労働紛争を解決する努力を行うこと、また労働者や労働者の代表者と定期的にコミュニケーションを行うこと

#### 4. 環境保全

- ・法令に定められた環境基準を遵守すること、産業廃棄物の適正処理を行う等、環境保全に努めること
- ・気候変動への対策として、エネルギー効率の向上及び資源の消費の最小化を追求すること。また、温室効果ガスの排出は企業レベルで現状を把握し、削減に取り組むこと。
- ・環境方針を策定し、ISO14001 などの環境マネジメントシステム規格の認証を取得すること
- ・グリーン調達、グリーン購入を推進し、環境負荷低減に努めること。
- ・自然保護など生物多様性保全のための取り組みを推進すること

#### 5. 品質・安全性の保証

- ・品質マネジメントシステム規格(ISO9001 等)の認証を取得するなど品質保証活動を推進し、継続的に改善を行うこと
- ・各国地域で定める安全品質基準および業界基準を満たすこと。また、含有化学物質を適切に管理し法令を順守すると共に想定されるリスクの低減に努め、製品安全を確保すること

#### 6. 機密及び情報セキュリティ対策・知的財産保護

- ・機密情報、個人情報とは正当な方法で入手するとともに、適切に管理し情報の漏洩や紛失の防止に努めること
- ・第三者の知的財産権を保護・尊重し、不当に侵害しないように関連法令・規則などの順守を徹底すること

#### 7. 情報開示・コミュニケーション・地域社会

- ・事業活動の内容、財務状況、業績、リスク情報などをステークホルダーに適時開示し、信頼関係に基づき協働すること

- ・相談者・通報者が、保護され報復を恐れることなく、相談や通報ができる仕組み(相談・通報窓口等)を開設・運用すること
- ・事業活動を行う地域コミュニティにおいて、地域住民との対話やコミュニティへの適応を進めることを目的として、活動範囲を決め企業の経営資源を活用した支援活動を実施し、積極的に社会貢献に取り組むこと

以上

※サプライチェーン全体の価値を向上させるために、積極的な取り組みを進めていただくこと、また本要綱の内容を貴社の取引先にも伝達し、遵守を促進、また遵守状況を確認し、取引先と一緒に CSR に取り組んでいただきますよう、ご理解とご協力を要請します。

CSR への取り組み状況をモニタリングする為アンケートを実施させて頂き、調査の結果、課題のある取引先様については改善を依頼させて頂く場合があります。